

・ 利用回数が最も多い金融機関

1. 利用回数が最も多い金融機関（問5）

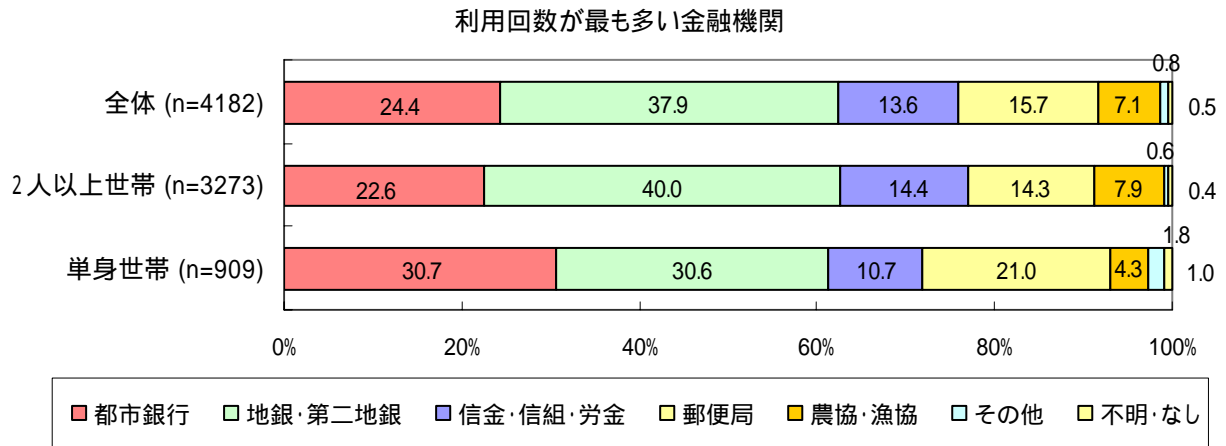
問5 お宅で利用している金融機関のうち、利用回数が最も多い金融機関はどれですか。（ は1つ）
 なお、例えば、複数の都市銀行を利用している場合は、別々の金融機関としてお考えください。
 「利用回数が最も多い」とはATM・CDを利用する、支店の窓口へ行く、外務員（営業担当者）に訪問してもらい、電話やインターネットで振込・振替・残高照会をするなど、取引のために日頃接触する頻度が最も高いことをいいます。

< 世帯別 >

利用回数が最も多い金融機関としては、2人以上世帯では、「地銀・第二地銀」(40.0%)が最も多く、以下、「都市銀行」(22.6%)、「信金・信組・労金」(14.4%)、「郵便局」(14.3%)の順となっている。

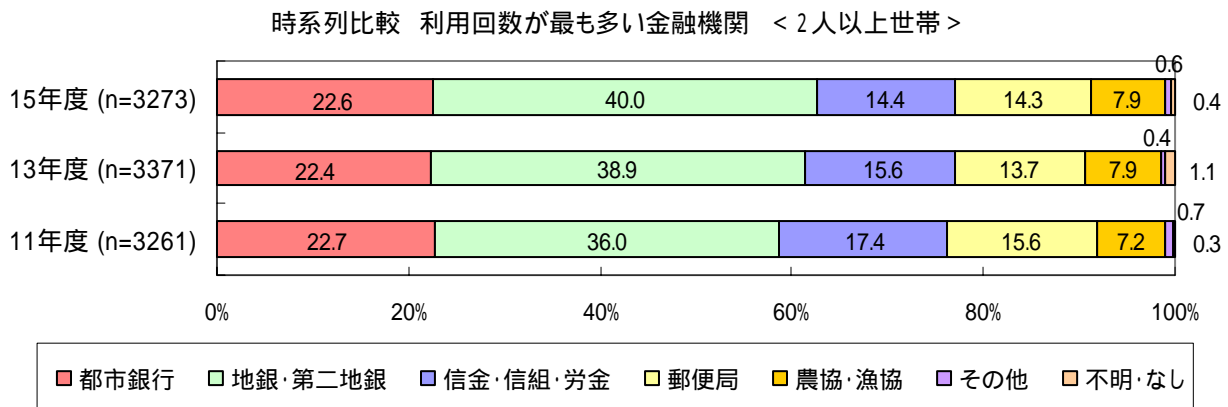
一方、単身世帯では、「都市銀行」(30.7%)、「地銀・第二地銀」(30.6%)が他を引き離してほぼ同率で並び、以下「郵便局」(21.0%)、「信金・信組・労金」(10.7%)の順となっており、2人以上世帯と比較して、「都市銀行」「郵便局」の割合が高い。

貯蓄額が最も多い金融機関(問4)と比較すると、郵便局の割合が低くなっている。



< 時系列比較 >（2人以上世帯）

2人以上世帯について、時系列で見ると「地銀・第二地銀」(40.0%)が増加傾向、「信金・信組・労金」(14.4%)が減少傾向にある。



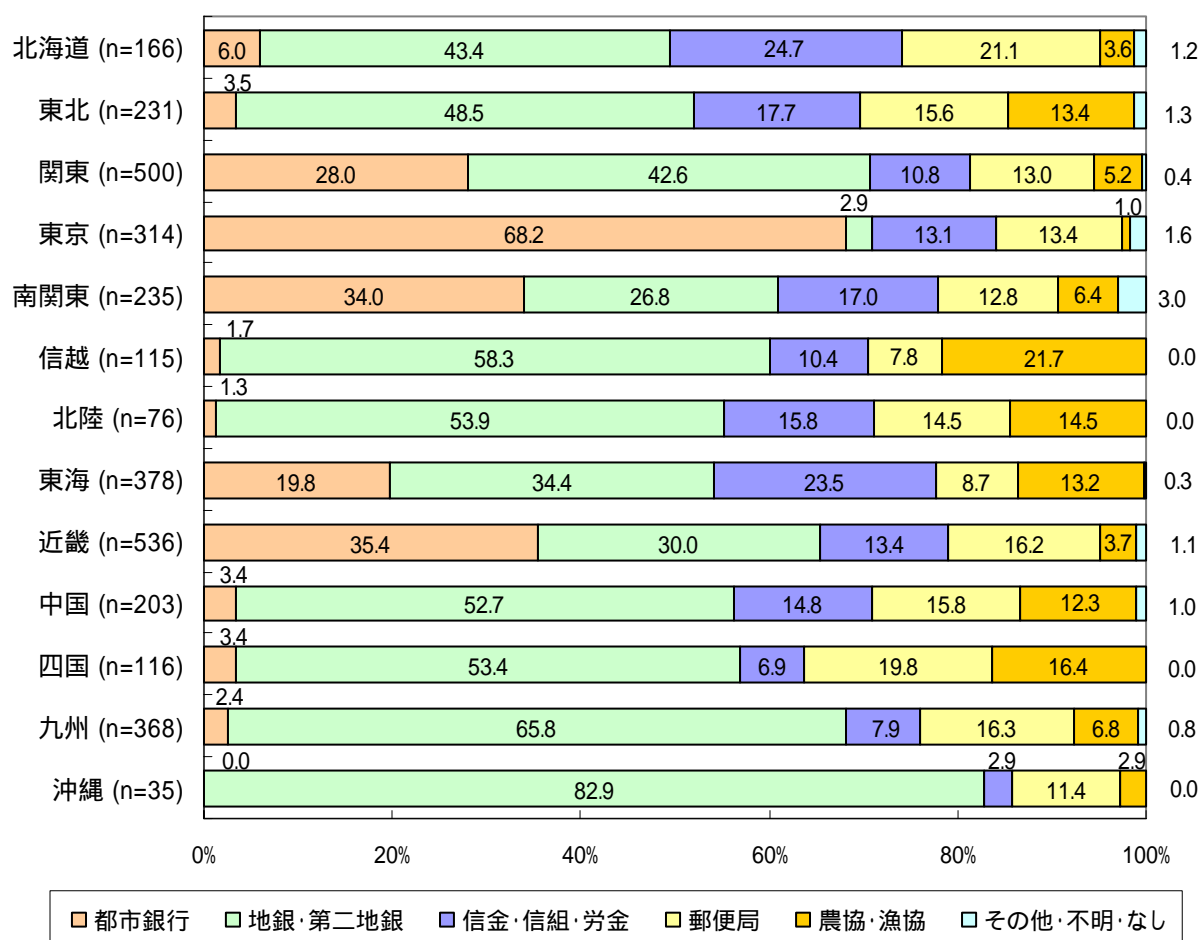
<地域ブロック別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、地域ブロック別にみると、「東京」「南関東」「近畿」以外の10の地域ブロックにおいて、「地銀・第二地銀」の割合が最も高くなっており、特に「沖縄」(82.9%)、「九州」(65.8%)において圧倒的に高くなっている。

一方、「東京」「南関東」「近畿」では「都市銀行」の割合が最も高く、特に「東京」(68.2%)では際立って高い。

また、「信金・信組・労金」については「北海道」(24.7%)及び「東海」(23.5%)で、「郵便局」については「北海道」(21.1%)及び「四国」(19.8%)で、「農協・漁協」については「信越」(21.7%)で相対的に割合が高くなっている。

地域ブロック別 利用回数が最も多い金融機関 < 2人以上世帯 >

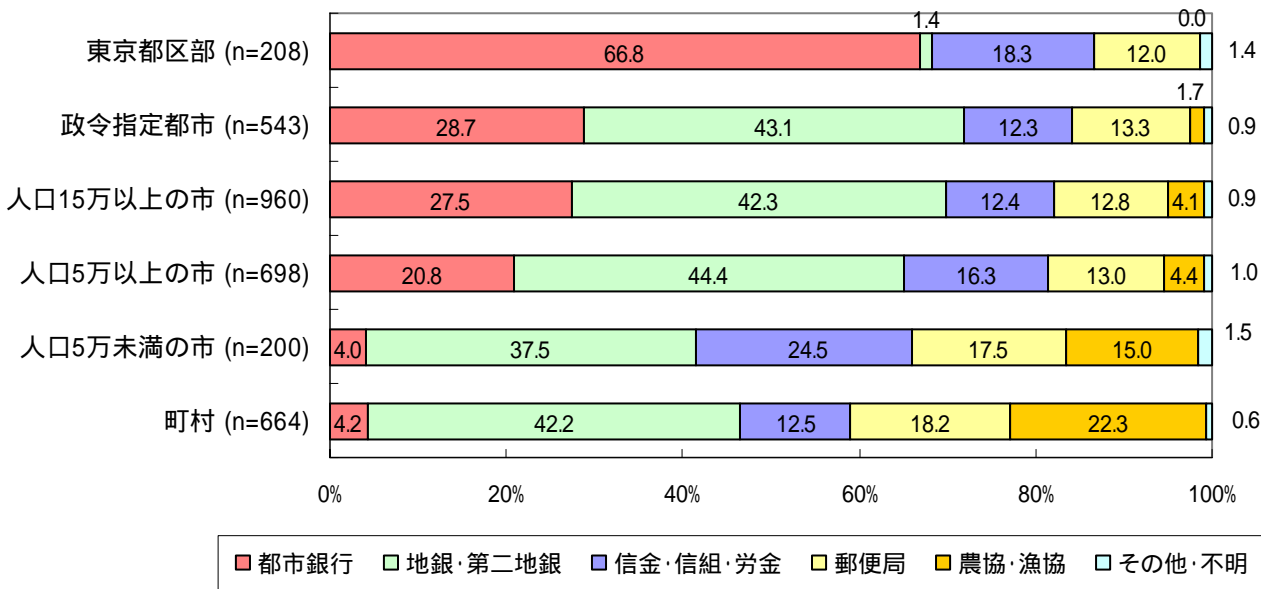


< 都市規模別 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について、都市規模別にみると、「東京都区部」以外では、「地銀・第二地銀」が4割前後と高い。一方、「東京都区部」では、「都市銀行」(66.8%)が圧倒的に高い。

また、「町村」及び「人口5万未満の市」では「農協・漁協」が相対的に高く、「都市銀行」の割合は非常に低くなっている。

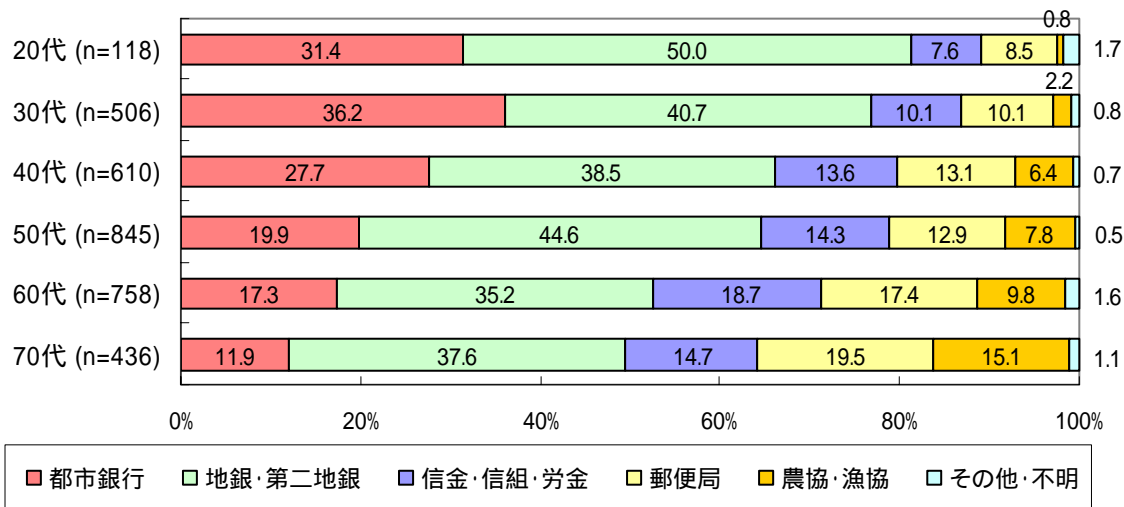
都市規模別 利用回数が最も多い金融機関 < 2人以上世帯 >



< 世帯主年齢別 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について、世帯主の年齢別にみると、全ての年代で「地銀・第二地銀」が4~5割と最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「郵便局」「農協・漁協」の割合が高まる傾向がみられる。

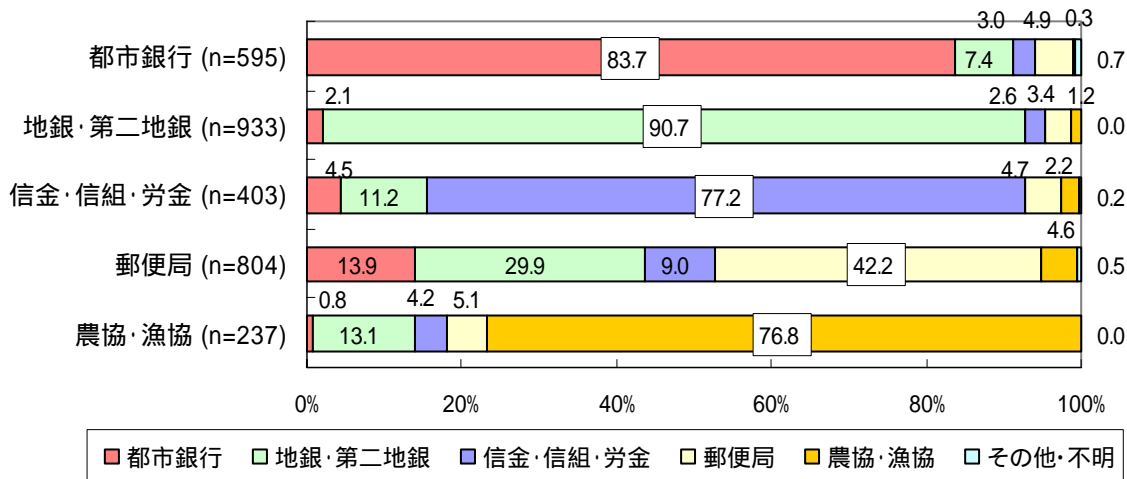
世帯主年齢別 利用回数が最も多い金融機関 < 2人以上世帯 >



<貯蓄額が最も多い金融機関別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、貯蓄額が最も多い金融機関(問4)別にみると、貯蓄額が最も多い金融機関と利用回数が最も多い金融機関について、どちらも「都市銀行」、「地銀・第二地銀」、「信用金庫等」または「農協・漁協」を選んだ世帯は、7 - 9割を占めているが、どちらも郵便局を選んだ世帯は5割以下(42.2%)にとどまっている。

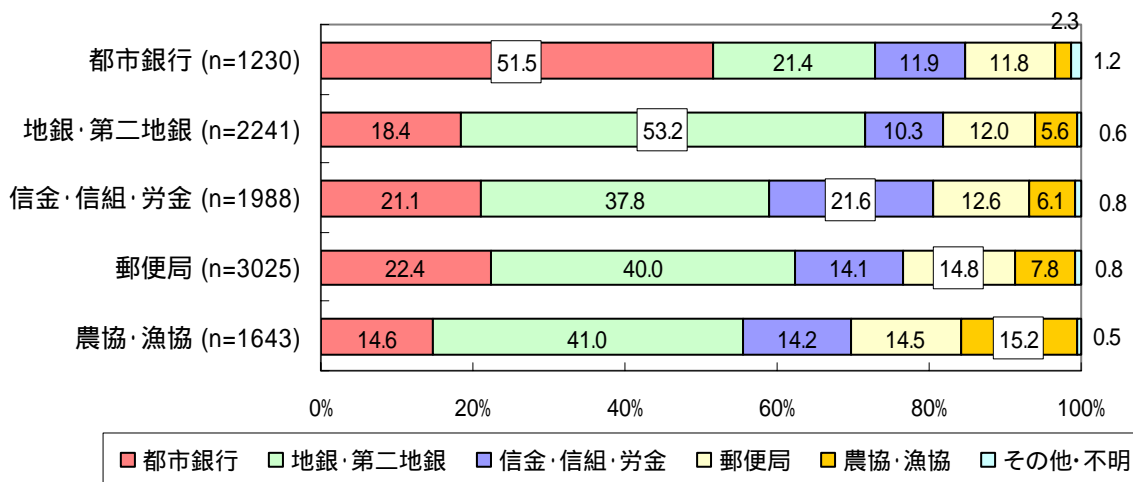
貯蓄額が最も多い金融機関別 利用回数が最も多い金融機関 < 2人以上世帯 >



<自宅の近くにある金融機関別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、自宅の近くにある金融機関(問1)別にみると、自宅近くにあつてなおかつ利用回数が最も多い金融機関は、「都市銀行」(51.5%)、「地銀・第二地銀」(53.2%)、「信金・信組・労金」(21.6%)、「郵便局」(14.8%)、「農協・漁協」(15.2%)となっており、「地銀・第二地銀」及び「都市銀行」では、過半数を占めている。

自宅の近くにある金融機関別 利用回数が最も多い金融機関 < 2人以上世帯 >



2. 利用回数が最も多い金融機関を選んだ理由 (問5付問1 複数回答)

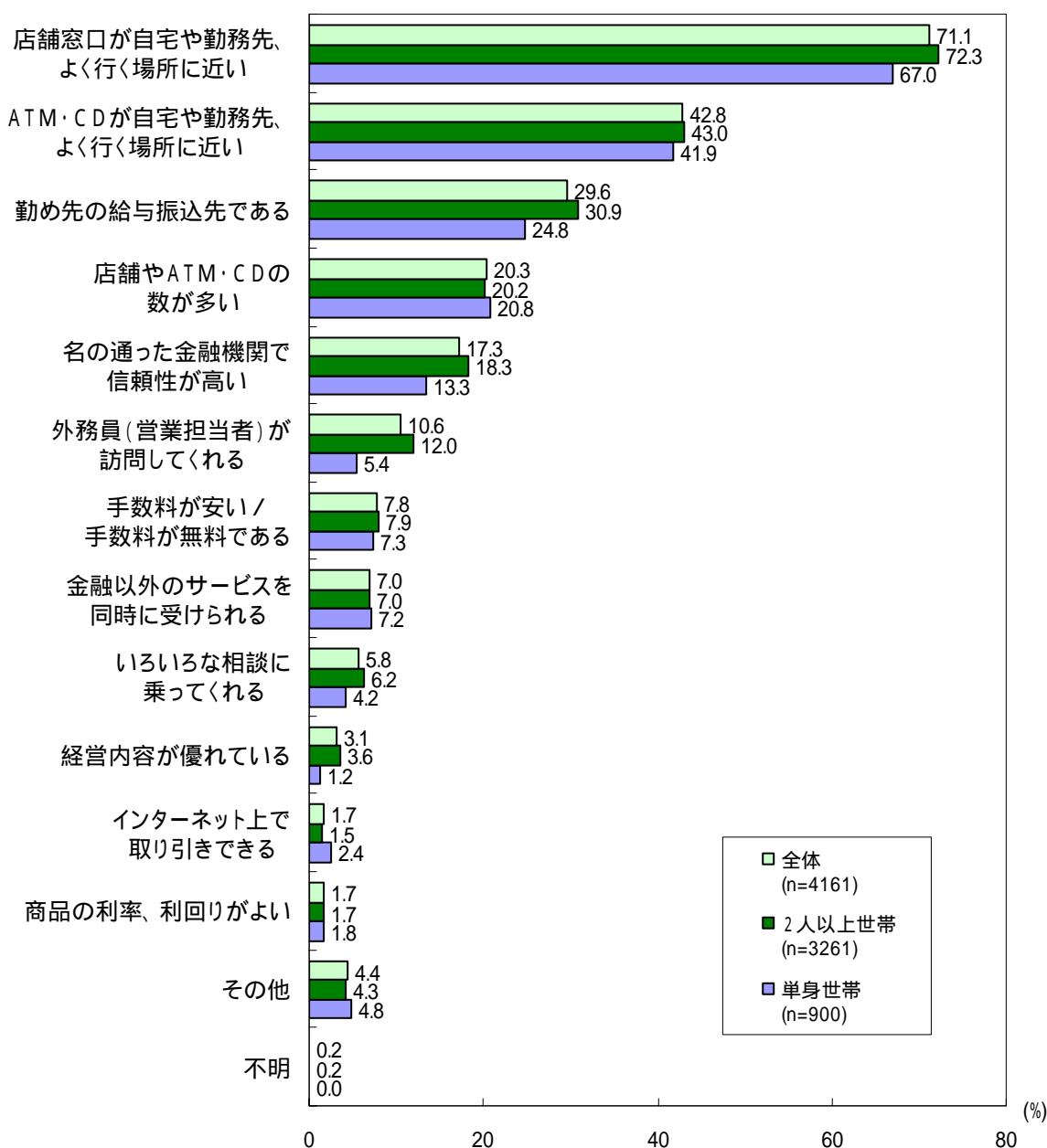
付問1 その金融機関を選んだ理由について、あてはまるものをすべて選んでください。(はい/いつでも)

< 世帯別 >

利用回数が最も多い金融機関がある世帯 (n=4,161) がその金融機関を選んだ理由としては、「店舗窓口が自宅や勤務先、よく行く場所に近い」(2人以上世帯 72.3%、単身世帯 67.0%) が際立って高く、以下、かなり離れて「ATM・CDが自宅や勤務先、よく行く場所に近い」(2人以上世帯 43.0%、単身世帯 41.9%)、「勤め先の給与振込先である」(2人以上世帯 30.9%、単身世帯 24.8%) の順となっている。単身世帯では、2人以上世帯と比較して、「外務員(営業担当者)が訪問してくれる」の割合が低くなっている。

また、貯蓄額が最も多い金融機関を選んだ理由(問4付問1)と比較すると、「店舗窓口が近い」や「ATM・CDが近い」の割合が高く、「名の通った金融機関で信頼性が高い」の割合が低くなっている。

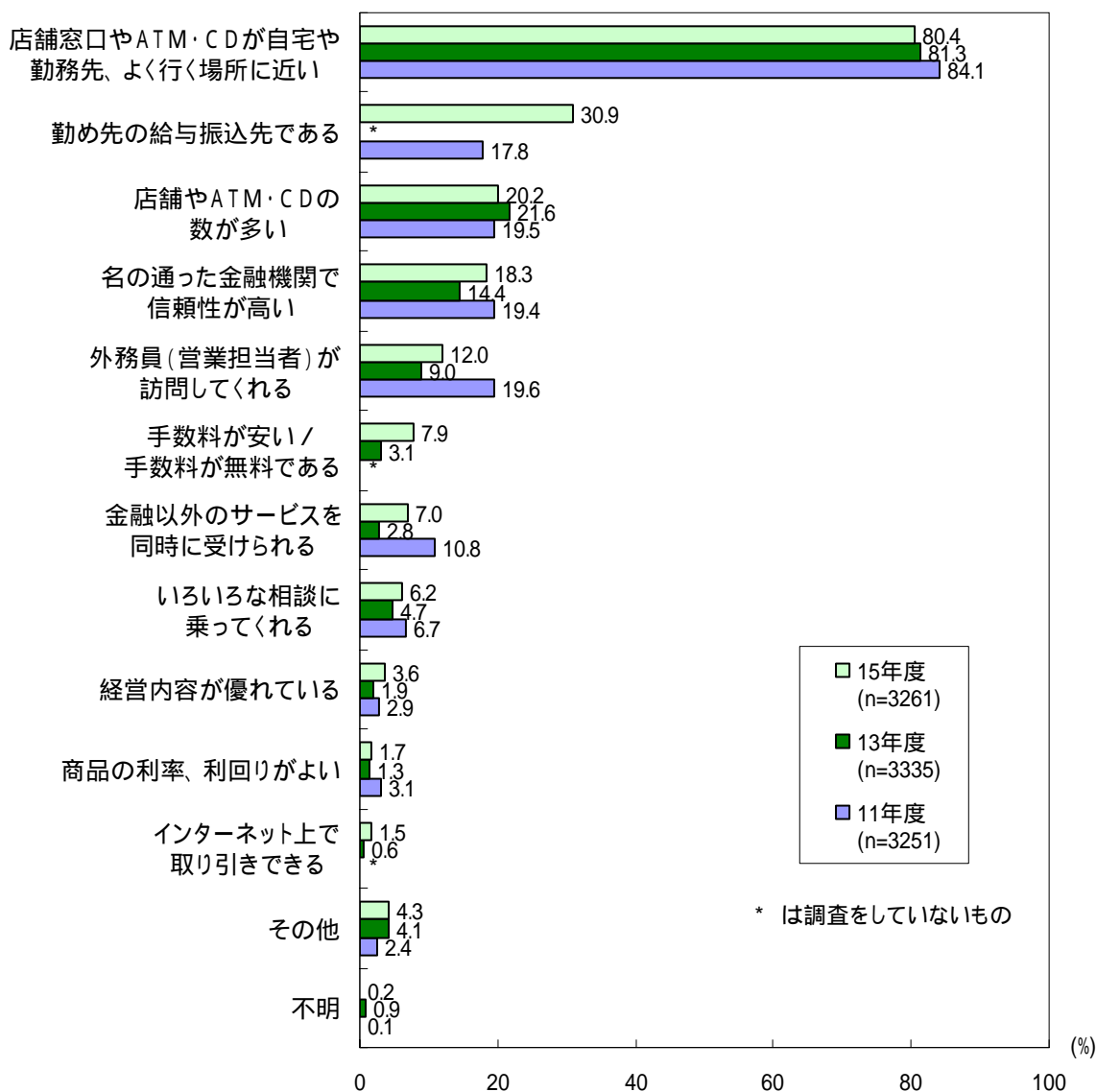
最も利用回数が多い金融機関を選んだ理由(複数回答)



<時系列比較> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、13年度調査及び11年度調査と比較すると、「外務員が訪問してくれる」は減少傾向、「手数料が安い」は増加傾向がみられる。なお、13年度調査については、調査票がマトリックス形式であったため全体として回答率が低くなっていると思われる点に留意が必要である。

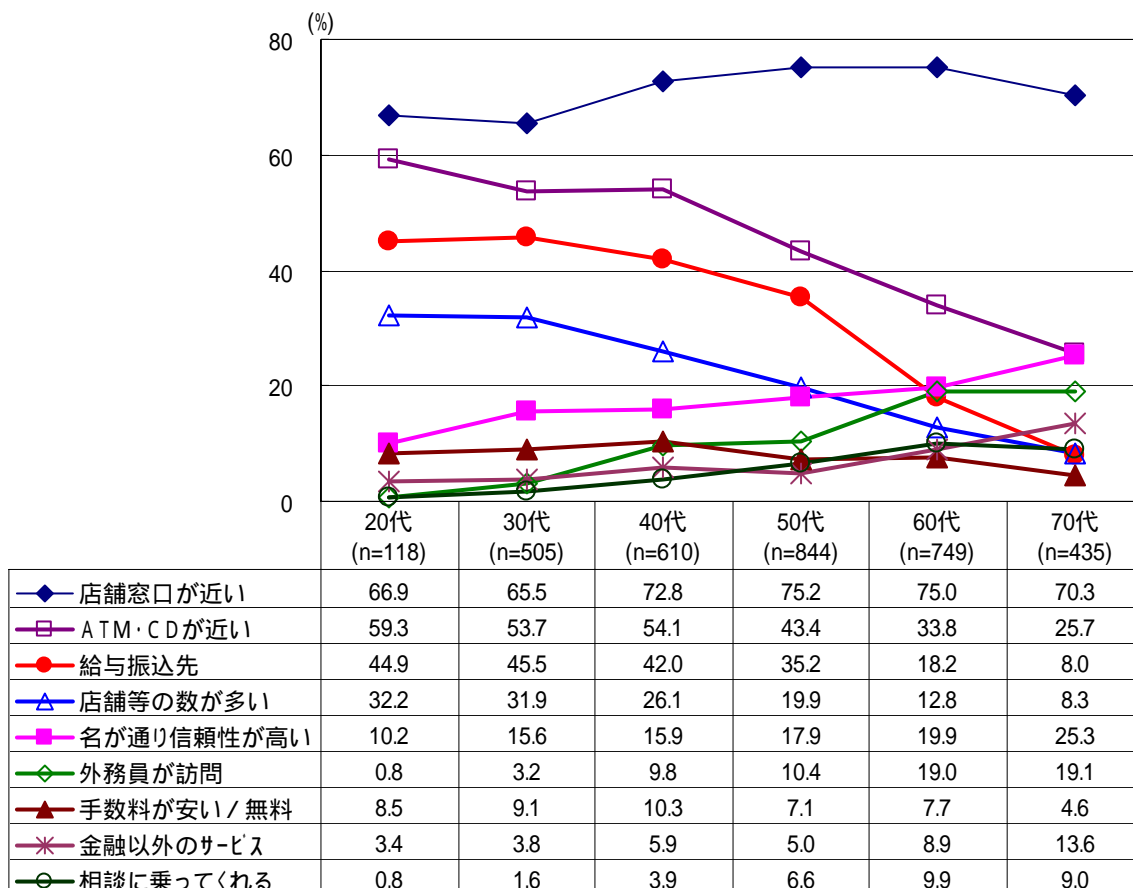
時系列比較 最も利用回数が多い金融機関を選んだ理由(複数回答)
<2人以上世帯>



<世帯主年齢別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、回答率の高かった上位9つの理由について、世帯主の年齢別にみると、「ATM・CDが自宅や勤務先、よく行く場所に近い」「店舗やATM・CDの数が多い」「勤め先の給与振込先である」は若年層ほど回答率が高く、「名の通った金融機関で信頼性が高い」「外務員が訪問してくれる」「金融以外のサービスを同時に受けられる」「いろいろな相談に乗ってくれる」は高齢であるほど回答率が高くなっている。

世帯主年齢別 利用回数が最も多い金融機関を選んだ理由(複数回答)
<2人以上世帯>



<利用回数が最も多い金融機関別> (2人以上世帯)

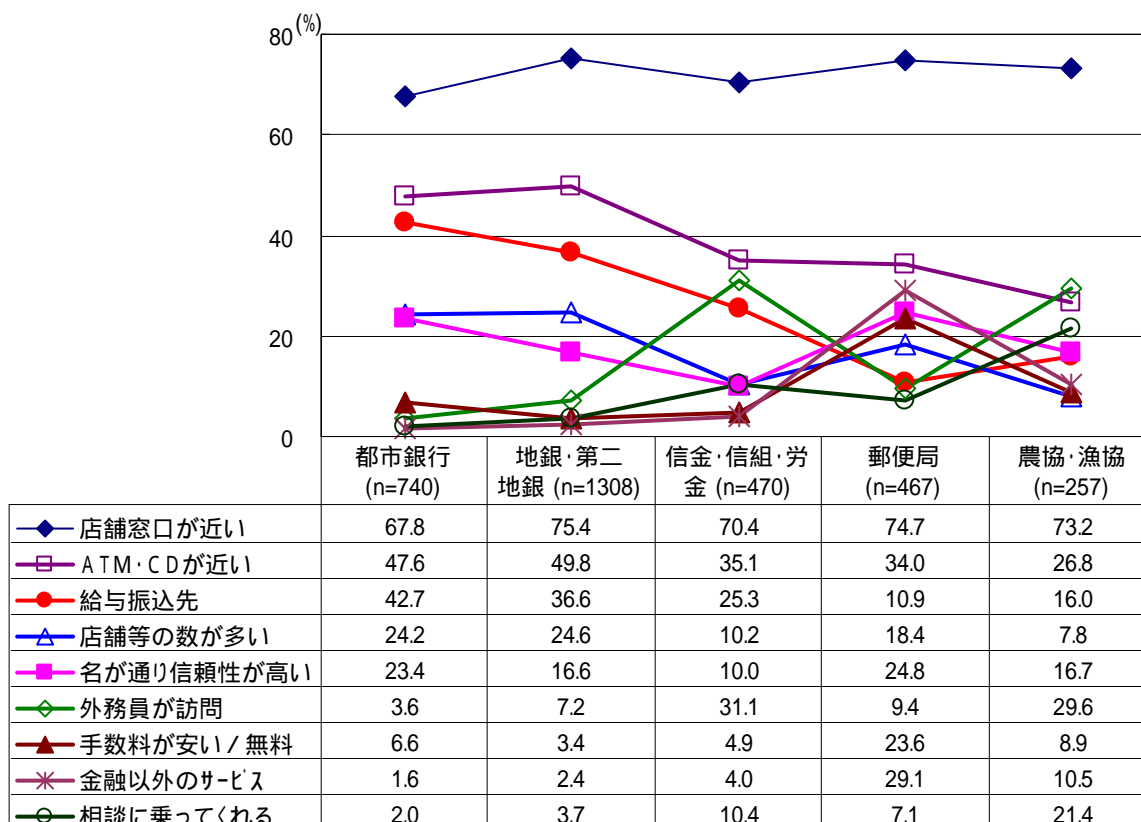
2人以上世帯について、利用回数が最も多い金融機関別にその金融機関を選んだ理由をみると、いずれも「店舗窓口が自宅や勤務先、よく行く場所に近い」が際立って高い。

その他の理由については、「都銀」「地銀・第二地銀」では「ATM・CDが自宅や勤務先、よく行く場所に近い」「勤め先の給与振込先である」が高い。

「信金・信組・労金」「農協・漁協」では、「外務員が訪問してくれる」の割合が高い。

「郵便局」では、「勤め先の給与振込先である」が低く、「手数料が安い」「金融以外のサービスを同時に受けられる」が高くなっている。

利用回数が最も多い金融機関別 <2人以上世帯>
利用回数が最も多い金融機関を選んだ理由(複数回答)



3. 最も重視している理由(利用回数) (問5付問1 - 1)

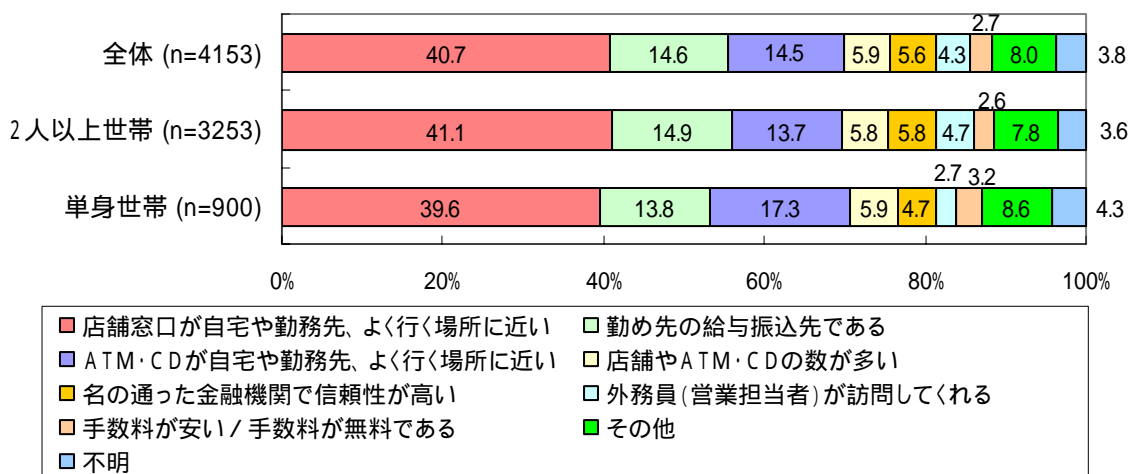
付問1 - 1 また、そのうち最も重視している理由について、に番号を記入してください。

<世帯別>

「利用回数が最も多い金融機関を選んだ理由」に回答した世帯(n=4,153)のうち、最も重視しているものとしては、「店舗窓口が自宅や勤務先、よく行く場所に近い」(2人以上世帯 41.1%、単身世帯 39.6%)が最も高く、かなり離れて、2人以上世帯では「勤め先の給与振込先である」(14.9%)、単身世帯では「ATM・CDが自宅や勤務先、よく行く場所に近い」(17.3%)が続いている。

貯蓄額が最も多い金融機関の選択理由(問4付問2 - 1)と比較して、「店舗窓口が近い」「ATM・CDが近い」を最も重視する割合が高く、「名の通った金融機関で信頼性が高い」を最も重視する割合が低くなっている。

利用回数が最も多い金融機関を選んだ理由(最も重視しているもの)

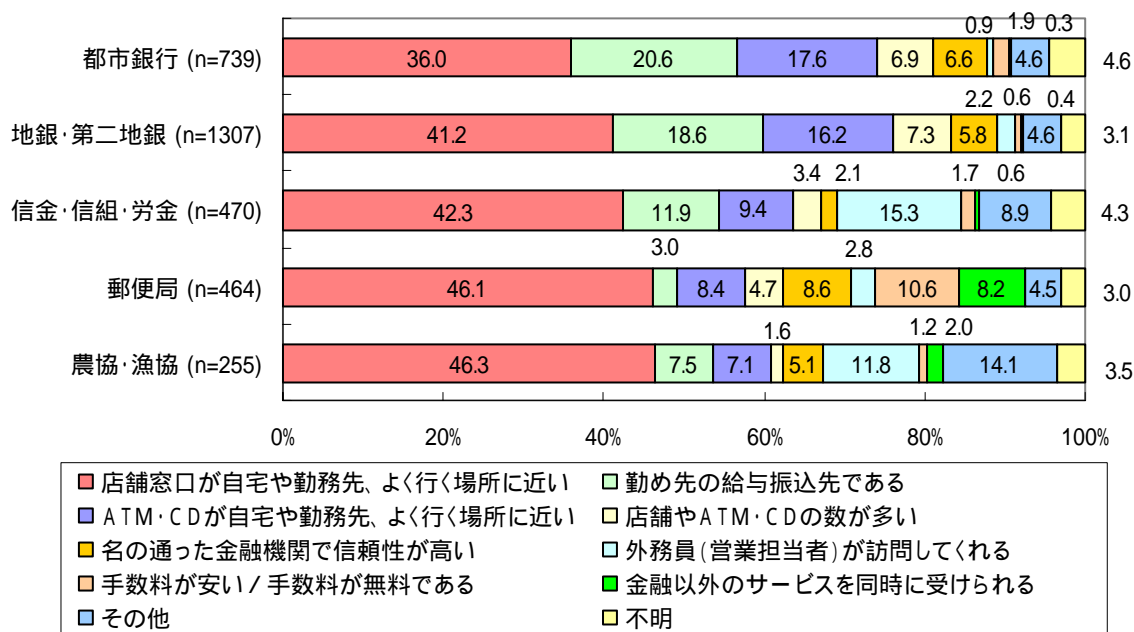


< 利用回数が最も多い金融機関別 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について、利用回数が最も多い金融機関別にみると、「都銀」「地銀・第二地銀」の利用回数が最も多い世帯では「勤め先の給与振込先である」(20.6%、18.6%)、「ATM・CDが自宅や勤務先、よく行く場所に近い」(17.6%、16.2%)を最も重視している割合が高い。

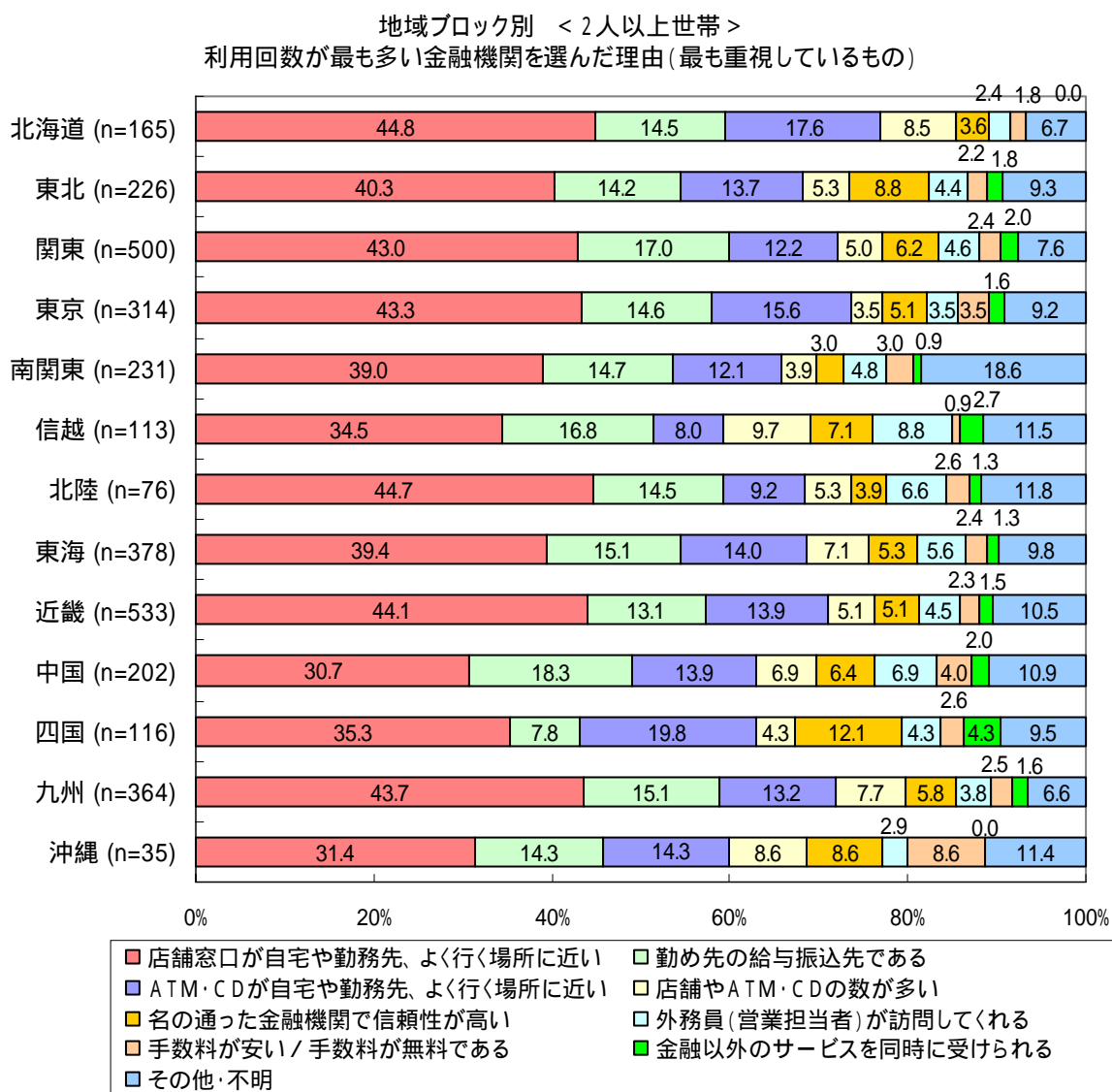
また、「信金・信組・労金」「農協・漁協」では「外務員(営業担当者)が訪問してくれる」(15.3%、11.8%)の割合が高く、「郵便局」では「手数料が安い」(10.6%)、「金融以外のサービスを同時に受けられる」(8.2%)の割合が高くなっている。

利用回数が最も多い金融機関別 < 2人以上世帯 >
利用回数が最も多い金融機関を選んだ理由(最も重視しているもの)



<地域ブロック別> (2人以上世帯)

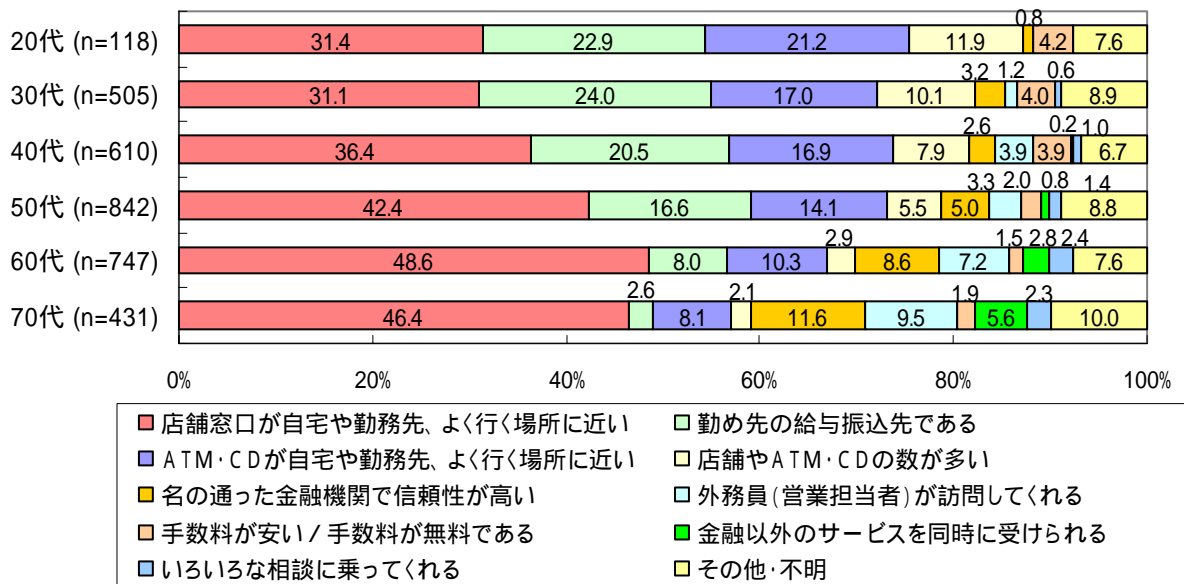
2人以上世帯について、地域ブロック別にみると、「中国」「沖縄」では「店舗窓口が自宅や勤務先、よく行く場所に近い」(30.7%、31.4%)が、他と比較して低く、「関東」「中国」では「勤め先の給与振込先である」(17.0%、18.3%)、「北海道」「四国」では「ATM・CDが自宅や勤務先、よく行く場所に近い」(17.6%、19.8%)の割合が相対的に高くなっている。



<世帯主年齢別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、世帯主の年齢別にみると、20代～50代は「勤め先の給与振込先である」「ATM・CDが自宅や勤務先、よく行く場所に近い」が多い。60代、70代では「名の通った金融機関で信頼性が高い」「外務員が訪問してくれる」が多くなっている。

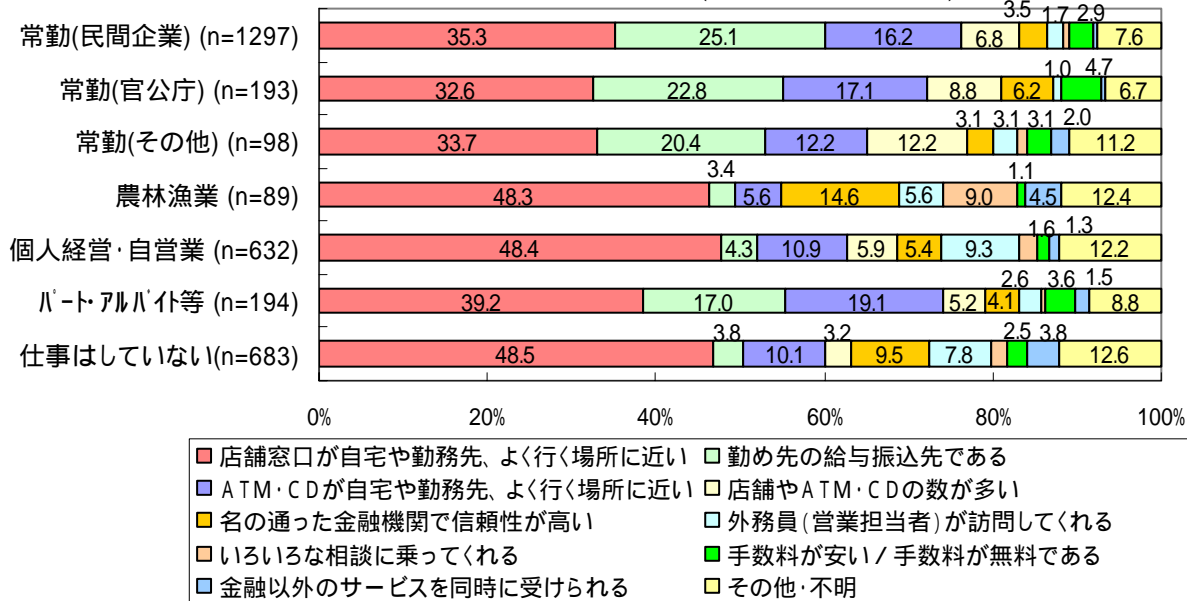
世帯主年齢別 <2人以上世帯>
利用回数が最も多い金融機関を選んだ理由(最も重視しているもの)



<世帯主職業別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、世帯主職業別にみると、「農林漁業」では「勤め先の給与振込先である」が低く、「名の通った金融機関で信頼性が高い」「いろいろな相談に乗ってくれる」が高い。「個人経営・自営業」では「勤め先の給与振込先である」が低く、「ATM・CDが自宅や勤務先、よく行く場所に近い」「外務員が訪問してくれる」の割合が他と比較して高くなっている。

世帯主職業別 <2人以上世帯>
利用回数が最も多い金融機関を選んだ理由(最も重視しているもの)

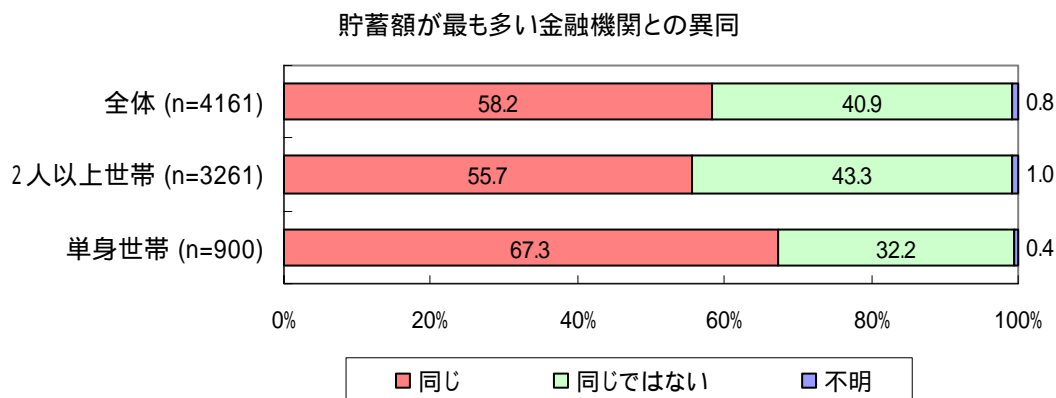


4. 貯蓄額が最も多い金融機関との異同 (問5付問2)

付問2 その金融機関は、問4で選んだ「貯蓄額(投資額)が最も多い」金融機関と同じですか。(は1つ)
 なお、例えば、同じ都市銀行であっても別の金融機関である場合は、同じではないものとしてお考えください。

<世帯別>

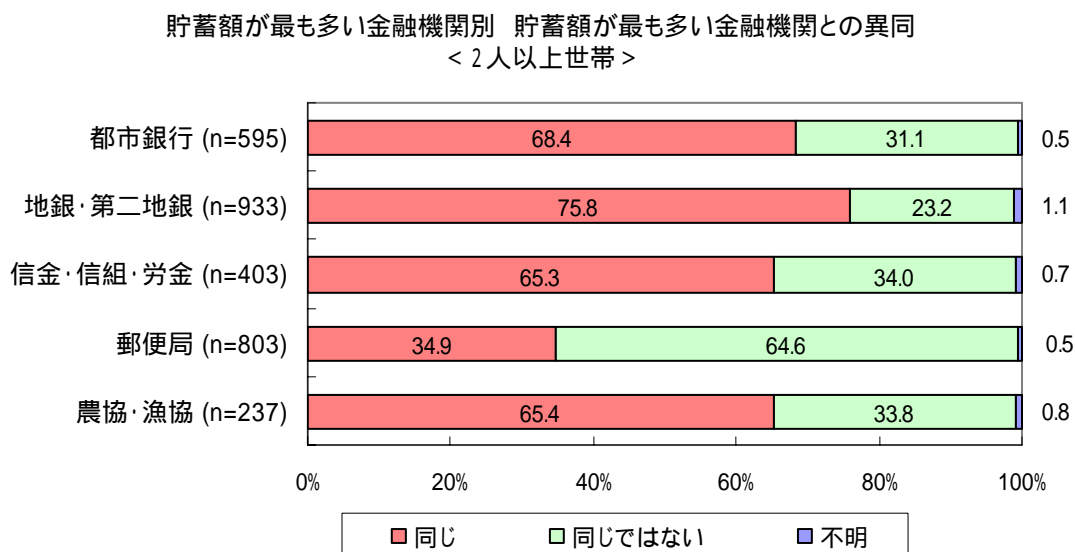
問5で「利用している金融機関はない」と回答した世帯を除く世帯(n=4,161)に、利用回数が最も多い金融機関は貯蓄額が最も多い金融機関と同じかどうか聞いたところ、「同じ」と答えた割合は全体で58.2%、2人以上世帯で55.7%、単身世帯で67.3%であった。単身世帯では、2人以上世帯と比較して、「同じ」と答えた割合が高い。



<貯蓄額が最も多い金融機関別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、貯蓄額が最も多い金融機関別にみると、「都市銀行」「地銀・第二地銀」「信金・信組・労金」「農協・漁協」では、6 - 7割が同じと答えているが、郵便局については「同じ」と答えた割合が34.9%にとどまっている。

なお、「1. 利用回数が最も多い金融機関」において、<貯蓄額が最も多い金融機関別>に分析を行った際には、「郵便局」については「同じ」であった割合が42.2%あったことから、問4及び問5で同じ金融機関を選択しているにもかかわらず、本問で「同じではない」を選択しているケースが1割弱あるものと推測される。



5. 利用回数が最も多い金融機関で行っている取引（問5付問3 複数回答）

付問3 問5で選んだ「利用回数が最も多い」金融機関で行っている取引をすべて選んでください。（はいくつでも）

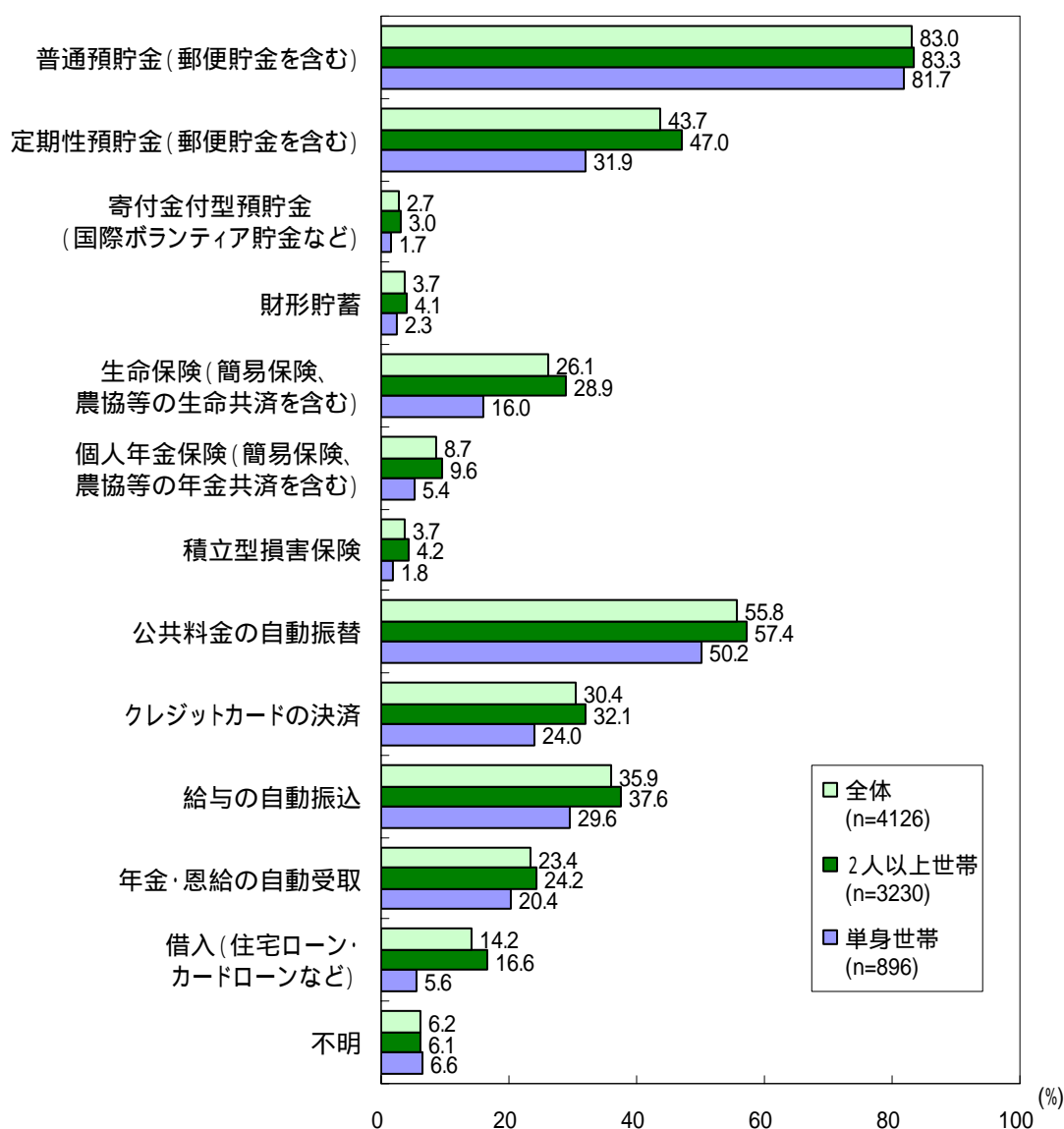
<世帯別>

利用回数が最も多い金融機関がある世帯（n=4,126）が、その金融機関で行っている取引としては、「普通預貯金（郵便貯金を含む）」（2人以上世帯 83.3%、単身世帯 81.7%）が最も高く、以下、かなり離れて「公共料金の自動振替」、「定期性預貯金（郵便貯金を含む）」、「給与の自動振込」、「クレジットカードの決済」の順となっている。

貯蓄額が最も多い金融機関で行っている取引（問4付問3）と比較すると、「定期性預貯金（郵便貯金を含む）」の割合が低く、口座引落・受取全般の割合が高くなっている。

なお、問5付問2で、「貯蓄額が最も多い金融機関と同じ」を選択した世帯については、問4付問3の結果を用いている。また、回答率が2%未満のものはグラフには掲載していない。

利用回数が最も多い金融機関で行っている取引（複数回答）



< 利用回数が最も多い金融機関別 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について、「利用回数が最も多い金融機関」別に「現在行っている取引」をみると、「都市銀行」の利用回数が最も多い世帯では、「普通預貯金」(75.5%)、「公共料金の自動振替」(51.4%)、「給与の自動振込」(30.9%)の利用率が高い。

「郵便局」の利用回数が最も多い世帯では、「公共料金の自動振替」(37.5%)、「給与の自動振込」(18.6%)などは低くなっている。

「農協・漁協」の利用回数が最も多い世帯では、「生命保険」(30.0%)、「個人年金保険」(10.9%)の利用率が高い。

なお、問5付問2で、「貯蓄額が最も多い金融機関と同じ」を選択した世帯については、問4付問3の結果を用いている。

利用回数が最も多い金融機関別 < 2人以上世帯 >
利用回数が最も多い金融機関で行っている取引 (複数回答)

